

# サーキュラーエコノミーの推進

【予算額】236,579千円

一部新規

担当 新産業育成課  
サーキュラーエコノミー担当  
内線 3737

目的

県内産業の成長と資源の循環利用とともに推進し、環境と経済の両立を目指すサーキュラーエコノミー\*の取組を支援する。

事業概要

寄附募集事業

## 1 サーキュラーエコノミーに取り組む県内企業への支援 236,579千円

### (1) サーキュラーエコノミー推進体制の強化 (一部新規) 62,742千円

- ・「サーキュラーエコノミー推進センター埼玉」において相談対応やマッチング等を実施
- ・「食の再資源化トライアル拠点（産業技術総合センター北部研究所）」による技術的支援を実施
- ・「産業技術総合センター」においてバイオプラスチックの実用化を研究
- ・金融機関と連携し、サーキュラーエコノミーの普及促進を強化

#### 一部新規内容

- 金融機関に顧客企業へサーキュラーエコノミーの取組を促していただくため、金融機関の営業職員向けセミナーを開催するほか、先行事例などを紹介するPRツールを作成

### (2) 特定のテーマをターゲットにしたマッチングの促進 (一部新規) 40,655千円

- ・衣料品のサーキュラーエコノミー実現に向け、近隣の自治体と連携した合同マッチング会等を実施
- ・サーキュラーエコノミーに関する大企業のニーズ調査結果を活用したマッチングを実施
- ・産業団地を核としたサーキュラーエコノミーの取組を推進

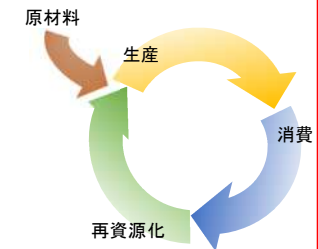
#### 一部新規内容

- 産業団地において、団地内に立地する企業を核としたグループを組成しサーキュラーエコノミーを実現する取組への伴走支援を実施

### (3) サーキュラーエコノミーリーディングモデルの構築 133,182千円

- ・再生材の活用など「資源の循環に配慮した設計」による試作開発等に係る経費を補助  
補助率 2/3 上限額 2,000万円
- ・食品廃棄物等を活用した新製品の開発等を行う設備・システム等に係る経費を補助  
補助率 2/3 (小規模企業者3/4) 上限額 2,000万円
- ・スタートアップ企業を対象に先進的なビジネスプランを表彰する「CSUP」を開催し、事業展開を支援

\*サーキュラーエコノミー（循環経済）：生産活動や消費活動などのあらゆる段階で資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動のこと。



令和7年度CSUP表彰式